

1. ツキノワグマについて

- ・西中国地域（広島県・山口県・島根県）のツキノワグマは、絶滅のおそれを理由に平成6年度以降国による狩猟禁止の措置がとられている
- ・県では、平成8年から保護管理計画を策定し、個体数の保護管理を実施（現在の計画は令和4年度から8年度まで）
- ・現計画から、生息数の拡大等に伴う錯誤捕獲や人身事故の発生により、国のガイドラインに基づく、ゾーニング管理による個体群の保護管理を導入
- ・錯誤捕獲個体は、原則放獣 → 居住地、農地などで捕獲されたものは殺処分

- A. 保護地域…ツキノワグマの健全な個体群維持を担保する地域
（対応：放獣）
- B. 緩衝地域…排除地域の周辺部
（対応：放獣、状況により殺処分）
- C. 排除地域…農林業等の盛んな地域、市街地、集落内の住宅密集地など
人間の居住地域
（対応：殺処分）

2. これまでの人身被害発生状況

年度	発生日	市町村	性別	人数	年齢	被害程度	内容
29	—	—	—	—	—	—	—
30	12月	浜田市	男	3	50代、60代	1名重傷	狩猟用くくり罠に誤って捕まっていたツキノワグマに対応中、襲われた
元	11月	浜田市	女	1	70代、40代	軽傷	シイタケほだ場に向かう途中の竹藪から急にクマがでてきて、臀部の咬傷。
元	12月	益田市	男	1	30代	軽傷	クマの有害捕獲対応中にクマに噛まれた
2	10月	津和野町	男	1	60代	重傷	自宅裏の山林で防護柵の点検中にツキノワグマに襲われた
2	11月	浜田市	男	1	60代	軽傷	イノシシ捕獲用わなを確認しようとした際にツキノワグマと遭遇。頭、顔などを引っ掻かれる。
3	10月	益田市	男	1	50代	重傷	ランニング中にツキノワグマに襲われた
3	10月	浜田市	男女	2	70代、40代	軽傷	J R線路内で列車とツキノワグマが衝突事故。事故現場検証中に茂みに潜んでいたツキノワグマに襲われた。
4	10月	浜田市	男	1	80代	軽傷	夜間に家外にあるトイレから戻る際に、背後からクマに襲われる。

令和5年6月16日時点

3. 全国と島根県におけるクマの目撃・捕獲状況

年度	全国		島根県	
	捕獲数	目撃数	捕獲数	目撃数
H30	3,586	12,809	150	708
R元	6,285	18,317	158	834
R2	7,254	20,887	353	1,362
R3	4,584	12,743	221	778
R4	3,756	11,135	99	581